

受講生募集



介護実務者研修科 3



幅広い利用者に対する基本的な介護技術と知識を習得し、福祉用具に係る助言・提案ができる人材を育成します。



募 集 案 内

資格取得目標	介護福祉士実務者研修修了/福祉用具専門相談員
カリキュラム	※詳細は裏面をご覧ください。
訓練期間	令和4年12月9日(金)～令和5年6月8日(木)【6か月間】
訓練時間	9時5分～16時又は17時
訓練施設	ディスプレイカレッジ青森校 住所：青森市中央3-20-26 電話：017-718-1541 駐車場：月額3,000円(税込) *台数に限りがあり、遠方の方が優先となります。
定員	20名
受講料	無料
自己負担額	◇テキスト代：16,137円 ◇職業訓練生総合保険：4,900円/6か月(施設実習があるため加入必須です。) ◇施設実習前に健康診断が必要ですが、詳細は訓練初日のオリエンテーション時に説明しますので、事前に行う必要はありません。実費負担となり金額は実施機関により異なります。



対象者	ハローワークに求职申込みを行い、ハローワークの受講指示・受講推薦・支援指示のいずれかを受けた方
応募書類	受講申込書(各ハローワーク・ハローワークヤングプラザに備え付けてあります。) *受講申込書には写真(縦30mm×横24mm)の添付が必要になります。
応募先	各ハローワーク・ハローワークヤングプラザ
募集期間	令和4年9月22日(木)～ 令和4年11月24日(木)
選考方法	訓練の必要性等を総合的に勘案し書類選考します。
選考結果	本人あてに郵送により通知します。【令和4年11月30日(水)発送予定】

延長!

お申し込み
・
お問い合わせ

ハローワーク青森 017-776-1561
ハローワーク弘前 0172-38-8609
ハローワーク野辺地 0175-64-8609
ハローワーク五所川原 0173-34-3171
ハローワーク黒石 0172-53-8609
ハローワークヤングプラザ 017-774-0220

※本訓練は、受講希望者の応募状況等により実施されない場合がありますので、予めご了承ください。

実施主体

青森県立青森高等技術専門学校
青森市大字野尻字今田43-1
017-738-5727

訓練カリキュラム

コース区分	知識等習得	訓練科名	介護実務者研修科3	定員	20名	
訓練期間	令和 4 年 12 月 9 日 ～ 令和 5 年 6 月 8 日				6か月間	
想定就業先	介護関連施設、医療機関における介護職員、福祉用具貸与・販売事業所における営業、アドバイザー					
訓練目標	・介護利用者に対する基本的な介護技術と知識を習得し、在宅・施設問わず介護関連業務を行う能力を養成する。 ・介護福祉士実務者研修の養成カリキュラムを受講することにより、介護実務者研修修了の資格を取得する。					
仕上がり像	習得した技術、技能を活用し介護関連施設、福祉関連施設などで、様々な業務に対応できる人材					
資格取得	取得を目指す資格	介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員				
	取得可能な資格	介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員				
普通学	科 目	科目の内容			時間	
	1	ガイダンス	開講式、閉講式、オリエンテーション			
2	就職支援	履歴書の作成、自己PR、キャリアコンサルティング等			30	
小 計					30	
専 門 学 科	1	職業能力基礎講習	自己理解、仕事理解、職業意識、職場内のコミュニケーション、聴き方・話し方、ビジネスマナー			6
	2	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立			6
	3	社会の理解 I	介護保険制度			6
	4	社会の理解 II	社会と生活のしくみ、地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援法、介護実践に関する諸制度			36
	5	介護の基本 I	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理			12
	6	介護の基本 II	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護従事者の安全			24
	7	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション			24
	8	介護過程 I	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ			24
	9	介護過程 II	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）について事例を設定し、介護の過程、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察			30
	10	介護過程 III-1	介護過程の展開の実際（多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する）			30
	11	こころとからだのしくみ I	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）			24
	12	こころとからだのしくみ II-1	人間の心理、人体の構造と機能			48
	13	発達と老化の理解 I	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響			12
	14	発達と老化の理解 II	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点			24
	15	認知症の理解 I	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本			12
	16	認知症の理解 II	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人への支援の実際			24
	17	障害の理解 I	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本			12
	18	障害の理解 II	医学的側面から見た障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際			24
	19	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）			60
	20	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	福祉用具の役割、福祉用具専門相談員の役割と職業倫理			4
	21	介護保険制度等に関する基礎知識	介護保険制度等の考え方と仕組み、介護サービスにおける視点			6
	22	高齢者と介護・医療に関する基礎知識	からだとこころの理解、リハビリテーション、高齢者の日常生活の理解、介護技術、住環境と住宅改修			22
	23	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の特徴			10
	24	福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識	福祉用具の供給の仕組み、福祉用具貸与計画等の意義と活用			9
	25	福祉用具専門相談員修了評価	確認試験等			2
	26	修了評価	修了テスト			5
	27	安全衛生	労働衛生管理、安全衛生			1
小 計					497	
学 科 計					527	
実 技	1	生活支援技術 I	生活支援と ICF、ボディメカニクスの活用、生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点			24
	2	生活支援技術 II	利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術（環境整備、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息、睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具等の活用）			38
	3	介護過程 III-2	介護過程の展開の実際、介護技術の評価			24
	4	こころとからだのしくみ II-2	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）			24
	5	医療的ケア演習	喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習			18
	6	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の活用			10
	7	福祉用具の利用の支援に関する総合演習	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成			6
	8	企業実習	施設サービス、居宅サービス（訪問介護、通所介護、短期入所生活介護）、地域密着型サービス（グループホーム、小規模多機能型居宅介護）、障害福祉サービス			24
実 技 計					168	
総 合 計					695	